

(1) 2006年10月28日

The Kyodan Times

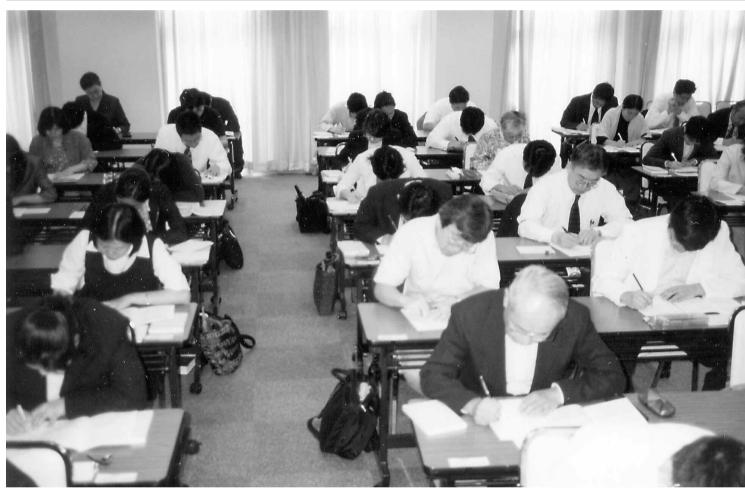
(1933年12月28日 第三種)
郵便物認可 隔週土曜日発行

第 4613 号

教育新報

定 價 1部 140円(本体133円+税共200円)
予約購読料 1年分 税共 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 竹前昇
編集主筆 竹澤知代志
印刷所 株式会社さかんし



年齢を含め実に多様な受験者、多様な働きで主に仕える日が

秋季教師檢定試驗

正教師試験、補教師試験とも、厳しい結果

二〇〇六年秋季教師検定試験が、九月二六日(火)～二八日(木)に大阪クリスマスチャンセンターを会場として行われた。受験者総数は八六名。

正教師試験は、五名が受験し、うち合格者が一四名で、保留者が三〇名、不合格者が一名であった。又、補教師試験は、二名が受験し、うち合格者が六名、保留者が六名、継続者が九名であった。保留者というのではなく、学科試験の結果が合格点にわずかに及ばなかった場合に、受験者にレポートが課せられ、後日そのレポートによる再判定を受けける者のことである。また継続者は、主にCコースにおいて複数年掛けて受験する者である。

者の中で次回以降も受験する必要がある者のことである。

秋季の教師検定試験は正教師試験の受験者が多いものであった。委員会は、提出物の課題・学科試験問題で同様に基本的なものを出題した。教師として宣教を当たるとき、どうしてもわきまえておかなければならぬ事柄ばかりである。この結果を真摯に受け止め、て、春季の試験に向けて備えをなして欲しい。

受験費用については教団からの援助が認められていて、しかし、教師試験は教会の業であり、比較的財政規模の大きな教会において

は教会が負担するという姿勢を持つて頂きたい。

今回の試験において目立ったのは、主に三点。第一に、提出物の課題である新約・旧約聖書神学の中に安易なものが少なくなかったということである。今回も略解や注解書を「丸写し」している者がいた。これは不正行為と見なされる得ないし、試験に臨む姿勢を問わざるを得ない。また、参考文献が一冊という者も多い。複数の文献に当たり、聖書のメッセージを聞き取つていく真摯な姿勢を日常の作業として欲しい。

第二に、神学的思考力の弱さが見られたということである。これは、学科試験の新約・旧約聖書神学に頭

著に現れた。聖書箇所を列するという答案が少なかったのである。そこで書箇所から神学的考察をめているのであるが、これが無い、或いは大変弱のが少なくなかった。主張提出課題の「神学論文」においては、自分が補教として経験したことの報告を記しているものが少くなかった。求められるのは「神学論文」でなくて、「伝道レポート」ではないのである。勿論、が経験してきたことには、それぞれ重いものがあるしかし、それを神学的考察しなければ「神学論文」にはならない。神学的力量は、全ての宣教の局において教師に求められる

明し、特に教憲第九条の「神に召され正規の手続きを経て献身した者」について丁寧な説明がなされた。その後、質疑応答、意見交換がなされた。受験者から二会場での受験になったことにについての意見が幾つか出されたが、今後の参考とした

▼とても嬉しきことがあって、夫婦で祈つた。アーメンと言つて、目を開けたら、飼い犬がえさ箱の前でお座りし、盛んにしつぼを振つている。彼はとつて、アーメンは食事の合図なのだ。▼四泊五日のキャンプもいよいよ閉会礼拝、楽しく無事に終えた感謝を祈り、アーメンと声を合わせた。その時、神学生が「いただきます!」キャンプの中間で三度三度、班ごとに競つて調理し、用意のできた班から食べ始めていたものだから、率先して飯ごう炊

学ぶ姿勢を形成すること



全体会で検定方針を説明する菅原力委員長

り、当委員会に課せられて
いる責任の重大さを思う。
主が教師となる人々を更に
起こされていくことを、心
より願い祈る。

第4613号

(第三種郵便物認可)

教 团 新 報

2006年10月28日

(2)

聖書注解書刊行一応の終結 (貯金通帳の返納のみを残して)

第6回宣教委員会

① 第34回会期第二回全国財務委員会が九月十八日された。

② 十九日に教団会議室で開催された。

③ 三局の財政を見詰める全国財務委員長会議

④ 飯塚拓也予算決算委員長が開会の祈禱を捧げた後、本会議の目的を「与えられた時間を有効に用いて、教団・各教区の課題を共有し、相互の理解を深める時どうい」と挨拶した。

⑤ 第一日は、①各教区の現況、②教団財務状況、③二〇〇七年度教団予算方針及び負担金をテーマにして報告、概要説明、質疑応答が行われ教団・各教区が担当多岐にわたる課題を共有しあつた多くの課題の中で、各教区がそれぞれの考え方で行われている謝儀援助(保障・互助を取りあげる中で、「どのような教会を立てば、どのようないかの資金繰りを巡って、勝山健一郎担当幹事に今後支障なく開催できる運びを確認し申し送ることとし

た。

⑥ 「聖書注解書の刊行に関する件」を扱った。本件は、協議の主要事項として、「聖書注解書の刊行に関する件」を扱った。本件は、

⑦ 「障害者差別問題小委員会設置継続に関する件」可決を岩崎隆一郎委員長が担当し、エフエス第2章19節以下22節に基づき、「能力でも財力でもなく、主イエス・キリストを頭とするのが教会である。日本基督教団は、キリストというかなめ石によって支えられている」と力強く語られた。委員会は常設専門委員会、全国教会婦人会連合等の報告を受け、協議に入った。

⑧ 協議事項として、まず「障害者差別問題小委員会設置継続に関する件」を扱い、一同異議なく可決した。但し「障害者差別と取り組む活動者全国交流会」開催の



「障害者差別問題小委員会設置継続に関する件」可決

⑨ 第34回会期第六回宣教委員会(今総会期最終)が九月十九日(火)、教団会議室で開催された。開会礼拝を岩崎隆一郎委員長が担当し、エフエス第2章19節以下22節に基づき、「能力でも財力でもなく、主イエス・キリストを頭とするのが教会である。日本基督教団は、キリストというかなめ石によって支えられている」と力強く語られた。委員会は常設専門委員会、全国教会婦人会連合等の報告を受け、協議に入った。

⑩ 協議事項として、まず「障害者差別問題小委員会設置継続に関する件」を扱い、一同異議なく可決した。但し「障害者差別と取り組む活動者全国交流会」開催の



三局の財政を見詰める全国財務委員長会議

第34回会期第二回全国財務委員会が九月十八日された。

十九日に教団会議室で開催された。

飯塚拓也予算決算委員長が開会の祈禱を捧げた後、本会議の目的を「与えられた時間を有効に用いて、教団・各教区の課題を共有し、相互の理解を深める時どうい」と挨拶した。

第一日は、①各教区の現況、②教団財務状況、③二〇〇七年度教団予算方針及び負担金をテーマにして報告、概要説明、質疑応答が行われ教団・各教区が担当多岐にわたる課題を共有しあつた多くの課題の中で、各教区がそれぞれの考え方で行われている謝儀援助(保障・互助を取りあげる中で、「どのような教会を立てば、どのようないかの資金繰りを巡って、勝山健一郎担当幹事に今後支障なく開催できる運びを確認し申し送ることとし

た。

九月十九日(火)、前日から行われていた全国財務委員会に続いて、教区活動連帯金配分協議会が開催された。出席者は各教区

会員長・伝道委員長、陪席者は竹前昇総幹事、計良祐時財務幹事、教団予算決算委員、欠席者は東海教区総会議長・財務委員長、関東教区財務委員長であった。協議会は、前年度の教区活動連帶

金配分協議会が教団のど

うや連帯金のあり方について等の問題提起がされた。その後、二〇〇五年度の協議会記録を承認し、教区活動連帯金配分協議会委員長の吉岡光人西東京教区議長が吉岡光人西東京教区議長となり進められた。

金配分協議会が教団のど

うや連帯金のあり方について等の問題提起がされた。その後、二〇〇五年度の協議会記録を承認し、教区活動連帯金配分協議会委員長の吉岡光人西東京教区議長が吉岡光人西東京教区議長となり進められた。

金配分協議会が教団のど

問題提起の中での金額決定

教区活動連帯金配分検討協議会

九月十九日(火)、前日から行われていた全国財務委員会に続いて、教区活動連帯金配分協議会が開催された。出席者は各教区

会員長・伝道委員長、陪席者は竹前昇総幹事、計良祐時財務幹事、教団予算決算委員、欠席者は東海教区総会議長・財務委員長、関東教区財務委員長であった。協議会は、前年度の教区活動連帶

金配分協議会が教団のど

うや連帯金のあり方について等の問題提起がされた。その後、二〇〇五年度の協議会記録を承認し、教区活動連帯金配分協議会委員長の吉岡光人西東京教区議長が吉岡光人西東京教区議長となり進められた。

金配分協議会が教団のど

うや連帯金のあり方について等の問題提起がされた。その後、二〇〇五年度の協議会記録を承認し、教区活動連帯金配分協議会委員長の吉岡光人西東京教区議長が吉岡光人西東京教区議長となり進められた。

金配分協議会が教団のど

うや連帯金のあり方について等の問題提起がされた。その後、二〇〇五年度の協議会記録を承認し、教区活動連帯金配分協議会委員長の吉岡光人西東京教区議長が吉岡光人西東京教区議長となり進められた。

九月十九日(火)、前日から行われていた全国財務委員会に続いて、教区活動連帯金配分協議会が開催された。出席者は各教区

会員長・伝道委員長、陪席者は竹前昇総幹事、計良祐時財務幹事、教団予算決算委員、欠席者は東海教区総会議長・財務委員長、関東教区財務委員長であった。協議会は、前年度の教区活動連帶

金配分協議会が教団のど

うや連帯金のあり方について等の問題提起がされた。その後、二〇〇五年度の協議会記録を承認し、教区活動連帯金配分協議会委員長の吉岡光人西東京教区議長が吉岡光人西東京教区議長となり進められた。

(3) 2006年10月28日



准允・握手は存在しなかつたと判断

信仰職制委員会が答申

△総会期最後の第六回員会が、九月十四日（木）～十五日（金）教団B会議室で開催された。多くの時間を費やし、前回より継続審議となっていた総幹事からの諮問「兵庫教区総会に

にかく統一議案における准允・挨拶式は「いて」の審議を行い、答申を作成した。要点は次の通り。

〔諮詢〕先の兵庫教区総会において執行された「准允・挨拶式」は、執行主体が日本基督教団ではな

37回 兵庫教区定期総会に招かれた私たち」であり、「誓約」も「准允」「按手」も行われず、「宣言への招き」「准允・按手礼受領者への宣言」だけが式の要素とな

て本来議案とは成り得ず、決議自体が無効である。
②その式次第において、何れも「教区総会に招かれた私たち」が主語となつて
いる。また教団式文の文

に招かれた「私たゞ」であると理解される。(3)その式において存在したのは「宣言への招き」と、准允・按手がなされたことを告げる「受領者への宣言」であつ

この結果は人達の責
によるものでない以上、
やかな救済措置が取られ
教師登録が回復されるよ
提言する。
(井ノ川勝昭)

速任の「国立追悼施設」が、家によつて戦死者の意旨を理解されが行われ戦意高揚に利用された例を挙げ、「国高揚することに手を貸すこと」らざるを得ない」として

ついで、総会期最後の
味づ
が国
に作
立追
利用
活動について反省と総括
を行い、引継ぎ事項として
教団財政健全化に向けて
さらに継続的な改革の努力
が必要な事等が確認された
ことにな
批

委のをさが。」
河内長野 辞(主)井上就(代)原田
犀川 ツ
越谷 辞(担)橋本
武(三毛) 龜井 辞(担)

周二	高幸	浩司	良作	橋本高幸、井上勲 教師隠退
			服部愛子→足野愛子 教師改姓	

〔改憲に反対する決議〕否決について考える
北支区 第65回東京教区総会（五月三〇）
三一日、於・富士見町教会は「日本国憲法第9条の改憲に反対する決議」に賛成しました。北支区常任委員会は「このことが何を意味しており、考えなければならない課題は何か」ということについて表記の「文書」を七月三日発表しました。その要旨は次の通りです。
「この決議に賛成しなかった人 態度になってしまふので、政治と
たちが皆憲法改定に賛成しているとは思えない。憲法改定反対決議という“政治的な”ことを教区内で行うべきではないとの理由から賛成しなかつた人もいたのではないか。信仰と政治（この世のこと）を分けるべきだとする考え方には日本キリスト教会の中に根深くある。しかし『政治的なことにかかる韓国基督教長老教会』ウル老会は「わらない」ことはそれ自体、ある立場に組したり一つの勢力を支持するというきわめて“政治的な”決意を新たにしている。

財政健全化に向け更なる改革必要 第六回予算決算委員会

回り支方を已草必要

第三回常議員会は九月十八日・十九日の両日、全国財務委員長会議の前後に教団会議室で開催された。

総幹事および財務担当幹事より当委員会に關わる事項の報告を受けた。今総会期第五回常議員会で二〇〇五年度決算について承認を得た。

ついで二〇〇七年度の予算に関する審議では、予算案を非収益事業と収益事業に分ける事とし、収益事業会計の收支の改善に一層取り組む事を確認した。

二〇〇五年度法人税、消費税賦課額に関する件は、各センターの法人税賦課額について、年度も教団が契約している問題の無い事を確認した。

二〇〇五年度法人税、諸教会の状況を鑑み、負担金收入を前年度比一パーセント減として、予算の縮小を図る事とし、賦課基準については、今年度の基準引き継ぐ事を確認した。

二〇〇五年度法人税、

重し
云議
題に
く事
〇〇
は次
原案
★「教会と国家学会」研
究会発表会／時＝11月10日（火）
14時～16時／所＝衆院第3議員会館
議員会館第3会議室／発
題は、
「私にとっての教会と國家学会」
家 李仁夏氏・主宰＝教
と国家学会（会長・高橋五
／参加費＝五百円／問合
＝教団久我山教会（尾崎
）TEL・FAX 0422-4
13
17721
時＝11月24日（金）
★東京教区原理問題相談
事等
に各
総額
的財務
的に財務
由さ
原案
題に
く事
〇〇
は次
原案
★「教会と国家学会」研
究会発表会／時＝11月10日（火）
14時～16時／所＝衆院第3議員会館
議員会館第3会議室／発
題は、
「私にとっての教会と國家学会」
家 李仁夏氏・主宰＝教
と国家学会（会長・高橋五
／参加費＝五百円／問合
＝教団久我山教会（尾崎
）TEL・FAX 0422-4
13
17721
時＝11月24日（金）
★東京教区原理問題相談

時会	8	まぜり	国表	究二
与那原	オアフ日語	就(教)大門 就(外)上田	福岡女学院中・高校 就(教)高山	桐生東部 安来
	名古屋中央辞(主)	就(代)西村	神戸女学院中高部	辞(主)梅田 就(主)金子
	リ		関西学院高等部	辞(外)柳田 辞(担)金子
	時会		辞(教)高山	辞(教)高山



事務局報

